

民衆の声
ボイス

No.111

公明党 横浜市会ニュース

VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX681-2060

令和7年度予算成立 生命と暮らしをまもる 防災・減災の政策がカタチに!

ハード・ソフト両面からさらなる地震防災力の強化を

公明党市議団がいち早く取り組んできた、様々な提案が施策として実現しました。

●全国初となる「TKBユニット」

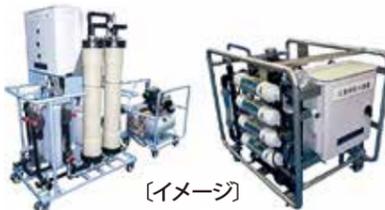
TKBユニット(トイレ・キッチン・ベッド)による災害対応を開始。トイレトレーラー(5台)、キッチンカー(1台)、簡易ベッド(300台)を導入した運用が検討されます。



【イメージ】

●浄水器による飲料水の確保

不測の事態に備えて、プールなどの水源を飲料水に活用できる浄水器が試行的に導入されます。



【イメージ】

●新しい防災備蓄品の配備

避難者を対象に、衛生用品、栄養補助食・飲料、パーティション、寝具を配備。高齢者・障がい者には介護食・きざみ食を備蓄します。

●流通備蓄により備蓄飲料が大幅に拡充

発災時に、市と提携する民間事業者の流通在庫を避難所に供給し、飲食料や生活必需品を確保します(2食×1日分を3食×3日分に拡充)。

●上瀬谷地区に方面備蓄庫を新設

本市最大の方面別備蓄庫の整備と、再編による物資輸送の全体最適化を進めます。(5年間で完了)



【市資料より】

道路陥没を未然に防ぐ取組みを強化

横浜市では、東日本大震災を契機に、公明党の提案を受け、平成25年度から、緊急輸送路や幹線道路を中心とした本格的な路面下空洞調査を実施しています。毎年、約100キロメートルの調査を行い、年間50か所程度の空洞を発見し、事故を未然に防いできました。1月に埼玉県八潮市で発生した事故を受けて、さらなる調査の強化を求めた結果、調査周期の短縮や、調査範囲の拡大などによる下水道起因への対策強化を図る方針が示されました。



路面化空洞調査車両を視察(平成24年6月20日)

带状疱疹ワクチンの定期接種がカタチに! 6月から対象者への個別通知を開始

- 生ワクチン(1回接種).....4千円の自己負担
- 組み換えワクチン(2回接種).....1回1万円の自己負担

《接種費用の半額程度の費用助成となり、住民税非課税世帯の方などは、自己負担を免除》

※65歳、及び60歳以上65歳未満で一定の障がい有する方を対象(※65歳以上の方は、経過措置として5歳年齢ごとを対象)



明るい未来への一歩

政策経営局への論戦より

男女共同参画の推進を!

3月8日は、国際女性デー。イタリアでは女性に黄色いミモザの花を贈ったりするそうで、横浜市の有志の女性議員の皆様とイベントを開催しました。一方で、日本の女性の地位は、世界経済フォーラムの「ジェンダー・ギャップ指数」では、2024年時点で146か国中118位と残念な結果です。

災害時には、更にこのジェンダーに起因する社会的課題が顕在化し、避難所運営に「女性の意見を十分に反映することが重要」と報告されており、防災研修の拡充、避難所運営に参画する女性の人材育成など、女性の参画を、平常時からしっかりと取り組んでいただくよう要望しました。

また、「女性デジタル人材育成事業」の拡充を訴えました。女性の正規雇用比率が妊娠・出産を機に大きく減少する、いわゆる「L字カーブ」や、賃金格差は喫緊の課題です。国では「女性デジタル人材育成プラン」を掲げ、女性の育成を加速しており、本市でも「Webマーケティングキャリアスクール」を令和5年度から実施し、定員を大きく超える応募があると聞いています。未経験からスキルを身につけ、就労にまでつながるのには有効な取組で、内容をブラッシュアップしていく必要があると思います。そこで、女性自身が経済的に自立できるよう、来年度への拡大を要望しました。

さらに、日本で女性の地位が低いことの根本的な原因として、正しい生命の学習、包括的性教育が大人の世代に実施されてこなかった所にあると感じています。SNSが普及している現代においては、本市から女性の地位向上に向けて「適切な教育、妊娠・出産・不妊に関する正しい知識の普及啓発」に向け、政策経営局、こども青少年、教育委員会事務局で連携しながら、包括的性教育にしっかりと取り組むべき、と要望しました。

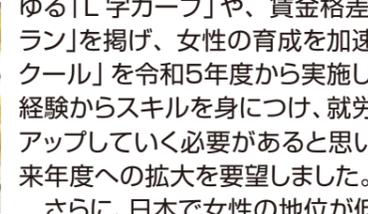
お悔やみ窓口～遺族の負担軽減へ!

我が党が設置を求めてきた「お悔やみ窓口」とは、亡くなった方に関する区役所で必要な手続き、つまり、申請書作成の補助や案内を行う専門窓口のことです。この窓口を設置することで、遺族の方は、複数の窓口へ複数の書類を作成したり提出することがなく、負担軽減することができます。私も、令和5年9月の一般質問、令和6年2月の市民局における局別審査、などを通して様々な要望をさせていただきました。令和6年1月から鶴見区と瀬谷区の2区で、モデル実施が開始され、本年秋から、市内18区で設置される予定です。

更に、お悔やみ窓口では、引き続きDXの活用を積極的に進めていただき、一度の手続きで他部署にも全てのデータがつながり、手続きごとに複数の窓口に行く必要がなくなり、ワンストップで受付と処理を実施できるよう改善を進めていただくことを要望しています。今回の政策経営局での論争では、このお悔やみ窓口を含め、データベースを確立することで市民の皆様にとって、区役所全体がより使いやすい窓口となることを要望しました。



横浜市議員
市来 えみこ
【都筑区選出】



令和6年1月 鶴見区役所視察

都筑区 まちかどホットライン

徳生公園の公衆トイレ

現在、改修工事中で、R7年9月完成を予定。(予期せぬ湧水や埋蔵物で遅延もありえます)※他の公衆トイレへ対しても、改修や新規のご要望をいただいております。が、市内で約2000あるトイレの約25%が洋式化されておらず、優先順位をつけて施工される運びとなります。



北山田駅から横浜国際プールへ「モノレール」が整備される予定!

地元の私達には、小学校の運動会など、思い出の多い横浜国際プール。

「北山田駅から国際プールへの117段ある階段を登るのがきつい! エスカレーターを付けるなど対処をお願いしたい!」高齢者や障害者の方を含む大勢の方からご要望をいただき約20年前からの、この要望に関する署名が私の手元に届いております。私自身、仕事帰りの登り階段には泣きが入ったこともあります。

そこで、都筑区選出の市議団が集まる「区づくり推進」会議や、担当行政の方々へ、この階段の整備の必要性を訴え続けてきておりました。2023年5月に初登庁して以来、「賑わいスポーツ文化局」のご担当者へずっと提案し続けてきた「地元の皆様のお声」が、やっとカタチになる予定です!



X(Twitter)



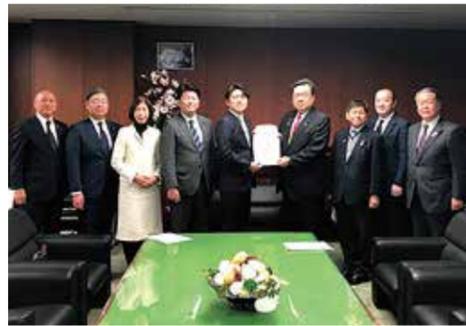
Instagram

【E-mail】 ichiki.emiko.yokohama@gmail.com
【ホームページ】 http://ichikiemiko.jp

政務活動最前線

国交省に下水の老朽化対策を求める

横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市で構成される、「公明党5大市政策研究会」は、国土交通大臣に対して、人口が集中する都市での対策は重要として防災・減災に関する要望書を提出し、老朽化するインフラへの適切な対応を求めました。下水事業への支援強化、住宅の耐震化、密集市街地の災害対策なども要望し、中野国交相は「しっかり対策していく」と応じました。



横浜美術館がリニューアルオープン!

広くて明るい広場のようなグランドギャラリーがある横浜美術館では、リニューアルオープン記念展の「おかえり、ヨコハマ」として開催されています。大規模改修により、長らく休館していた当館。新たな出会いと体験の場として、また横浜発の芸術・文化の発信拠点としての期待が高まります。



ピンクシャッター 2025 いじめや差別のない社会を

現在は約180の国や地域に広がっているピンクシャッターキャンペーンは、カナダで生まれたいじめ反対運動です。2月20日の市会本会議では、全員がピンク色のものを身に付けて審議に臨み、「いじめのない社会」の実現を決意しました。



語れる公明党実績〜令和7年度予算を巡る論戦より

こども青少年局

「視聴覚検診事業に目の屈折検査導入を推進」



安西 英俊 (港南区選出)

こどもの弱視等の早期発見と治療に結び付けるために、公明党は、3歳児健康診査に目の屈折検査を導入するよう、以前から要望してきており、7年度予算案で示された9月から6区で屈折検査を試行的に実施するためのモデル区選定の考え方を伺いました。

局長は、「様々な規模の区や会場の状況が異なる区を選定し、健診が円滑に実施できるよう検証する」と答弁し、全区での屈折検査の早期による実施を要望しました。



医療局

「総合的なアレルギー疾患対策を」



木内 秀一 (旭区選出)

「当事者や医療関係者の意見を踏まえ、総合的なアレルギー対策を進めるべき」と訴えました。

副市長は、「近年増加している食物アレルギー対応、本市全体のアレルギー医療の均てん化、災害時の対応等の多岐に渡る課題があり、関係局も複数にまたがっているが、その対策の推進には、患者、当事者団体、医療関係者などからのご意見等も十分に踏まえ、組織の垣根を超えた連携でしっかりと推進する」と答弁しました。



教育委員会

「通級指導教室の充実」



行田 朝仁 (青葉区選出)

局長は「通級指導教室を小・中、小学校中学校1校ずつ増設し、自らの学校内で通級指導が受けられる『校内通級』を、新たに試行実施する。通学や保護者付添いの負担軽減、在籍校と通級教員の連携強化等を図る」と答弁しました。安心への取り組みが進みます。

脱炭素・GREENXEPPO推進局

「GREENXEPPO2027とまちづくり」



高橋 正治 (緑区選出)

上瀬谷の景観・地形を生かした会場と公園整備の方向性を質問しました。

副市長等は、「上瀬谷の特色である、相沢川の谷戸地形や和泉川の源流部などを生かした景観を創出すること、地域の自然や資本を生かしながらGREENXEPPOを開催し、将来の公園でしっかりと引き継ぎ、歴史友好・平和の象徴として、将来の横浜全体の発展につながるまちづくりを進めていきたい」と趣旨を答弁しました。

健康福祉局

「新たな市営斎場の整備」



尾崎 太 (鶴見区選出)

増え続ける火葬需要に対応するため、鶴見区では市内で5か所目となる東部方面斎場の整備が進められており、これまで斎場前道路の利便性向上に向けて、交差点改良などを要望してきました。

今回の質疑では、来場者の安全を確保するため、神奈川県警より鶴見区方面からの右折レーンの設置が認められた事が明らかになり、令和9年3月の供用開始に向けた着実な整備の推進を要望しました。



経済局

「中小企業支援策の情報発信」



武田 勝久 (磯子区選出)

中小企業が必要とする支援情報をわかりやすく得られるよう、国の方ではショート動画を活用する等の改善が図られます。これを機に、国の支援策についても積極的に情報発信を行うべきと質問しました。

局長より「様々な媒体を通じて情報発信するほか、市としても国のショート動画を広く活用していく」との答弁がありました。

選挙管理委員会

「投票所の立会人・従事者への学生起用」



久保 和弘 (瀬谷区選出)

高齢化などにより立会人や従事者の確保が難しくなっている現状を踏まえ、高校生や大学生などが投票所の選挙事務に従事する機会を拡大していくべきと訴えました。

事務局局長は、「高校生や大学生が投票所に従事することは、地域の皆さまの負担軽減につながり、将来を担う若い世代が選挙を身近に感じることができ、大変有効な方策であり、今年の夏の選挙に向け、取組を広げていきたい」と答弁しました。



みどり環境局

「公園遊具の管理・更新」



望月 康弘 (港北区選出)

局長は、年4回の定期的な点検を実施し、不具合を発見した場合は、速やかに補修や部品交換などの改修を行っていることと、また、遊具の点検結果や劣化状況等に依りて、より安全で魅力的な遊具への更新も進めており、令和7年度は取組を加速し、6年度の約2倍の遊具等の改修や更新を予定している」と答弁しました。



政策経営局

「指定管理者制度の見直しを」



市来 栄美子 (都筑区選出)

指定管理施設の規模が様々ある中で、小規模な施設も、規模の大きめ「施設の規模に応じた修繕費を設定すべき」と訴えました。また、「施設で働く職員の賃金については、適正な水準を確保できるように、制度を見直すべき」と見解を求めました。

局長からは、「指摘のとおり、より実態を踏まえる必要があり、物価上昇も踏まえた賃金の上昇が進んでいく中で、労働環境をしっかりと確保していくことは重要で、7年度中に『賃金水準スライドの手引き』を改正していく」との答弁を得ました。